

明瞭な音声伝達が学生の「聞こえ」に差をなくし、ヒアリング力が向上 外国語ヒアリングシステム

茨城大学 さま



アシストホーンで、効果的な外国語のヒアリング学習を展開する語学教室

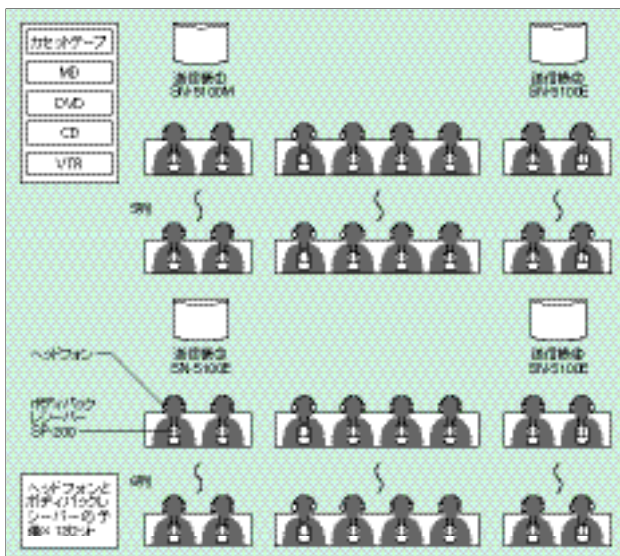
システムの特長

赤外線による音声伝送で混信のない明瞭な音伝達を実現
音声伝送に赤外線を使用しているため、周囲の教室で使用しているワイヤレスマイクの影響を受けずに混信のないクリアな音伝達を実現しています。インバーター（おもに照明機器）の影響を受けないことも音声の明瞭度を高めている要因の一つで、学生は集中してヒアリングの語学学習をできるようにしました。

どこの席でも学生全員に平等な授業を展開する バリアフリーシステム

学生は各々、ヒアリング授業でヘッドフォンを使用。ボディバックレシーバーで個人に最適な音量を調節でき、どの席に座っていても

システム図



納入機器一覧

送信機	SN-5100M/5100E	4
ボディバックレシーバー	SP-200	100
ヘッドフォン		100

水戸市は県のやや東部にある茨城県の県庁所在地です。茨城大学は、同市に1949年(昭和24年)新制大学として文理学部・教育学部・工学部の全3学部で創立しました。現在、5学部・6大学院からなる総合大学に発展した同大学は、広い学問領域にわたり、学生がプロフェッショナルとなるための学習機会を提供する、さまざまな教育施設を設置。中でも教養研究の中核施設「大学教育研究開発センター」では、講義や書物からは得られない学習を実施しています。その一環として、2000年3

月、同センターの教室に、語学学習のためのヒアリングシステムとしてアシストホーンが採用されました。学生は、社会にでてからも対応できる実用的な語学力を習得するため、熱心に授業に取り組んでいます。

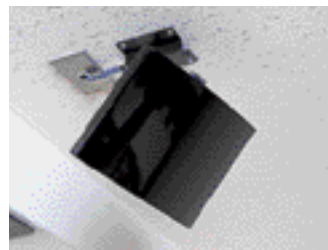


水戸キャンパスに設置された、教養研究の中核施設「大学教育研究開発センター」

平等な音声を聞き取ることが可能になりました。教室内の聞こえの均一化で、外国語ヒアリング授業におけるバリアフリーを実現しています。

さまざまな音声ソースを使用した幅広い授業を実現

教材ソースはカセットテープ、ビデオをはじめCD、MD、DVDを使用しています。授業内容にあわせて、たとえば英語・フランス語の一方を選択できる「2ch受信」、2人の会話を聞き取る練習などで選ぶ「ステレオ受信」など、充実したヒアリングの授業を展開。もちろん、先生の話すマイクの音声もしっかりと伝達されます。



天井に取付けられた送信機。最大88人が学習する教室に4台設置されています



受信機とヘッドフォンは生徒の人数分と予備で、合計100セットが常備されています

施主	茨城大学
納入先	茨城大学大学教育研究開発センター
所在地	茨城県水戸市文京2丁目1番1号
納入年月	2000年(平成12年)3月